

株式会社前田製作所

CSR 報告書 2013

CSR Report 2013



お客様とともに

1. はじめに

2012年、前田製作所は創立50年の区切りの年を迎えました。今年からは、また一步新たな気持ちで歩いていきます。ここまで成長できたのは、お客様からの励まし、ご意見、ご支援によるものと感謝申し上げるとともに当社が常に地域やお客様との繋がりを大切に、お客様が今何を求めているのか考え、お客様からの声を真摯に受け止め、ひたむきに歩んできた結果でもあります。お客様から信頼される企業であり続けるためこれらのことに地道に繰り返し取り組んでまいります。

2. 本報告書について

2011年に「環境報告書」から「CSR 報告書」に名称・内容を変更して今年で3年目になります。

今回は、マエダ企業行動憲章で第一番に掲げている「お客様の満足」について、私たちが色々な角度から、私たちにとっての「お客様」とは誰なのかを改めて見つめ直し、当社の歩み・事業内容・地域貢献活動等について、役員・社員が再認識し、あらゆるステークホルダーの皆様から当社について今まで以上にご理解をいただきたく、本報告書を作成しました。

- Web 上 <http://www.maesei.co.jp>
- 対象期間 2012年4月1日から2013年3月31日までの活動を対象としています
- 参考とした GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3版」
ガイドライン 環境省「環境報告書ガイドライン（2012年度版）」
- 対象範囲 前田製作所及び関係会社全拠点を対象としています

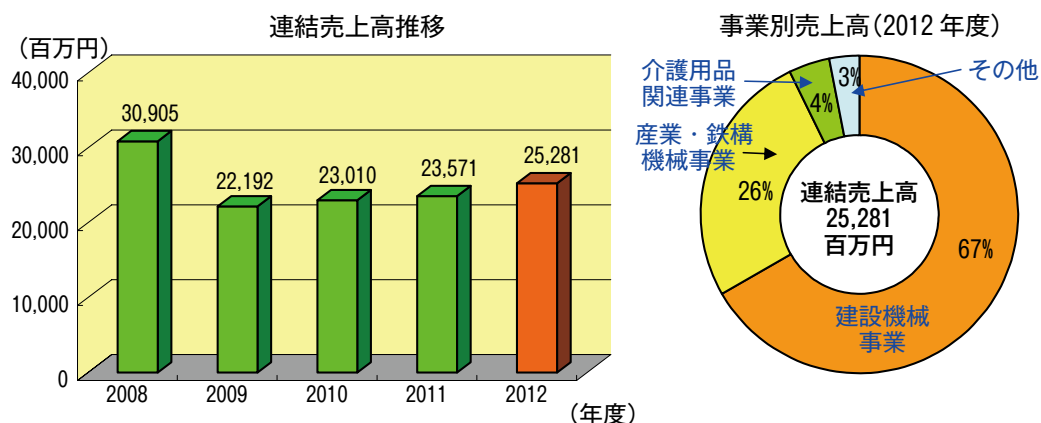
マエダ企業行動憲章

1. お客様の満足

私たちは、ステークホルダーの皆さまとの共生のもと、社会から求められる技術とサービスを、安全と品質はもとより、個人情報・顧客情報の保護に十分配慮して提供することにより、お客さまの満足と信頼の獲得に努めます。

- 1) お客さまのニーズを把握し、社会にとって有用な技術とサービスを提供します。
- 2) 技術とサービスの安全性と品質を確保して、お客さまの信頼を獲得します。
- 3) 個人情報・顧客情報を的確に保護します。

3. 企業情報



会社名 株式会社前田製作所
設立 1962年11月
本社所在地 長野県長野市篠ノ井御幣川1095
代表者 代表取締役社長 塩入 正章
資本金 31億6千万円
従業員数 546名(単体)
関係会社 株式会社 ネオックス(油圧シリンダ等の油圧機器の製造)
株式会社 フォードマエダ(フォードジャパンリミテッド特約販売店)
株式会社 サンネットワークマエダ(介護用品卸レンタル及び販売事業)

4. 主な事業内容

4.1 建設機械事業

建設機械本部では、甲信・名古屋地区4県(長野・山梨・愛知・三重)においてコマツの総販売代理店として1963年よりコマツ製建設機械販売及び点検・整備等のサービスを提供しています。

社是に基づき、日々サービス技術を高め、意欲を向上させ、常にお客様満足ナンバー1企業となれるようコミュニケーションを大切にし、お問合せには迅速に行動できる企業を目指しております。

環境問題では、ハイブリッド建設機械を主力商品として取り揃えており、持続可能な未来に向かって技術とサービスをお客様に提供しております。また、レンタル事業では、お客様からの更なるニーズにお応えすべく商品の品揃えに努めております。

①建設機械販売・サービス事業エリア

コマツ甲信(長野県、山梨県)

コマツ名古屋(愛知県岡崎市以西、三重県津市以北)

②建設機械レンタル事業エリア

レンタル21(長野県、山梨県、愛知県、三重県)

4.2 産業機械事業(新規事業)

新規事業部では、新たな製品の拡大として2012年に発表した車椅子・歩行車タイヤ洗浄機「クルット」に加え、車椅子歩行車メンテナンス専用リフトテーブル「らくらく回転リフター」を開発致しました。

これは、介護用品のレンタル作業現場の声から開発されたもので、スタッフの女性や職業がら常に腰痛を抱える男性でも車椅子を手軽に乗せられ、作業しやすい台があったらという声を反映させ、研究の末出来上がりました。これからも現場における些細な疑問や悩みの声から、当社の保有する技術を生かして今後とも社会に貢献できる製品を開発していきたいと考えております。

主力開発商品及び製品

- ① ミニクローラークレーン(かにクレーン)
- ② クローラークレーン(テレスコピック式)
- ③ 凍結防止散布装置(まきえもん)
- ④ 坑内用ダンプトラック(アーティキュレートダンプトラック・MDT)
- ⑤ 介護関連商品(車椅子タイヤ洗浄機・クルット)
(回転リフター)
- ⑥ 鉄鋼商品(シールド掘進機、特装車両、土木機器、水門)
- ⑦ 精密機械製造装置(メンテナンス専用テーブル・らくらく回転リフター)



「らくらく回転リフター」

もくじ

お客様とともに	1
トップメッセージ	4
新規開発商品の取組み	6
コーポレートガバナンス／CSR・コンプライアンス／リスク管理	8
自社製造・製品の取組み	
産機事業部編	10
機鉄事業部編	13
販売・サービス商品の取組み	14
環境の取組み	
環境経営	18
環境データ	20
環境教育・啓発	25
地球がステークホルダー	27
社内での取組み	
従業員への取組み	29
職場環境と安全衛生	31
関係会社の取組み	
(株)ネオックス	33
(株)フォードマエダ	34
(株)サンネットワークマエダ	35
地域・社会全般への取組み	37



表紙の写真について

長野県池田町にある七色大カエデ。
秋には七色の紅葉が楽しめます。
四季を通じて大カエデは趣きを変え真冬
には真っ白な大カエデとなります。
樹齢250年、高さ12m、枝先直径15m



トップメッセージ

➤➤➤ 人にやさしく豊かな未来を創造する

2012年度は、前田製作所が1962年に設立して以来、50年目の区切りの年でした。

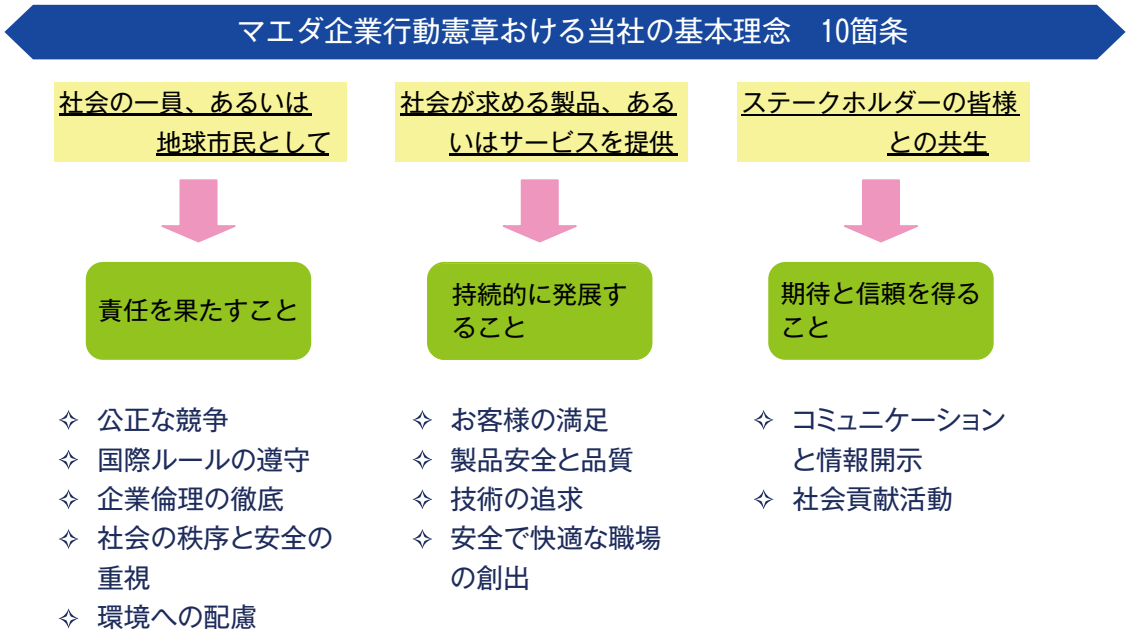
当社は、前田建設工業(株)の関係会社として、創業理念「良い仕事をして顧客の信頼を得る」と社是「誠実・意欲・技術」の精神を受け継ぎ事業を展開しております。この創業理念と社是の実現が当社の社会的責任であると認識し、「マエダ企業行動憲章」でより具体的な行動を役員・社員に促しています。

また、中期3ヵ年経営計画の最終年度であった2012年度は、当社を取り巻くあらゆるステークホルダーの皆様のご協力のもと良い成果を残す事ができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

2011年3月に発生した東日本大震災、その翌日に発生した長野県北部地震は当社にも大きな影響を与えました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日でも早い復旧・復興を願い、当社としてもあらゆる側面からお役に立ちたいと考えております。

現在、私たちを取り巻く社会環境は、経済活動のグローバル化、地球環境問題への意識の高まり、情報通信システムの急激な発展等、大きく変化し続けており、これに対応すべく変革が必要となっております。そこで、当社は、2013年度から「変革と成長への挑戦」をスローガンに新中期3ヵ年経営計画をスタートさせ、収益基盤の更なる強化と、成長性の確保を重点に取り組んでおります。

一方で、こうした企業活動だけでなく安全・安心で持続可能な社会を実現する事が私たちに課せられた責務ですが、世界状況は依然として厳しい状況にあり、日本でも東日本大震災及び長野県北部地震以降、自然災害リスクやエネルギー需給問題など、課題が山積みしています。



これらの諸課題は、私たちがこれまで享受してきた生活の質や社会活動について考え直すものであり、将来のビジョンを共有し、持続可能な社会を実現するためには互いの利害や立場を超えて共感し、行動を起こす必要があります。

そこで、2013年度は、「ビジネスモデルの変革」に向けた取組を通してステークホルダーの皆様への安全と安心を推進し、持続可能な社会の構築に寄与していきたいと考えています。

本報告書をとおしてすべてのステークホルダーの皆様と、より良いコミュニケーションが図れることを願っております。事業活動及びCSRへの取組みについて、皆様のご意見、ご叱責をお寄せ頂ければ幸いです。皆様方の変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 塩入正章

社 是

技 意 誠
術 欲 実

企業の活力ある発展と社会への貢献を達成するため、「社是」の実践を通して、広く社会から信頼される存在であり続けます

- 1 ステークホルダーの皆様「誠実」さをもって接します
- 2 真に豊かな社会の創造を目指して常に「意欲」を持ってチャレンジします
- 3 優れた「技術」と質の高いサービスを提供します

環境綱領

製品の開発・製造や販売・レンタル事業を通じて地球環境保全に貢献する企業となるべく以下の項目に取り組む

- 1 事業活動全般について環境マネジメントシステムによる継続的改善を推進する
- 2 環境関連の法規、規制、業界その他の基準を順守する
- 3 CO₂排出量の削減及び使用資源・使用エネルギーの削減に努める
- 4 環境に有益な影響を与える事業活動を推進する
- 5 新規事業、新商品・製品開発の過程において、人と環境の調和を最優先する
- 6 CSR 報告書などを通じて企業を取り巻くステークホルダーなど広く社会に公表し、相互理解を深める

新規開発商品の取組み

□□ 新規事業部

開発商品が目指すお客様の満足

- ・介護、福祉現場に従事している人の負担を軽減させること
- ・環境の3Rを考え、資源を有効に活用できる製品を開発すること
という思いが、お客様の満足に通じるものと考えています。

1. 介護用品メンテナンス機器の開発・販売

高齢化が進む中、介護・福祉用品の需要はますます高まっており、介護用品のメンテナンスにおける作業効率を向上させる装置を開発し、社会への貢献を果たしていきます。

1.1 車椅子・歩行車 タイヤ洗浄機「クルット」

様々な形状の車椅子、歩行車のタイヤに柔軟に対応し、手洗いで時間がかかるタイヤ洗浄作業を簡単にスピーディーに行うことができます。

【特徴】

- ・手作業で行われている車椅子のタイヤ洗浄を自動化
- ・形状の異なる車椅子でも、短時間で脱着を実現



2012年6月から販売を開始しました。

1.2 車椅子・歩行車 メンテナンス専用リフトテーブル「らくらく回転リフター」

車椅子、歩行車を安全に使うためには保守、整備が必要になります。従来は無理な姿勢での作業や、段取り替えが必要でしたが、本製品を使うことにより、作業者の腰痛作業を軽減できます。

【特徴】

- ・車椅子の載せ上げ作業が容易
- ・作業しやすい高さに昇降可能
- ・テーブルが回転し、車椅子の向きが自由自在
- ・タイヤが回転できるため、ラップ巻きが簡単
- ・フリーローラ収納式でテーブルとしても使える



2013年6月から販売を開始し、お客様からご好評を頂いております。

2. ソフト水熱プロセス処理

2.1 開発にあたり

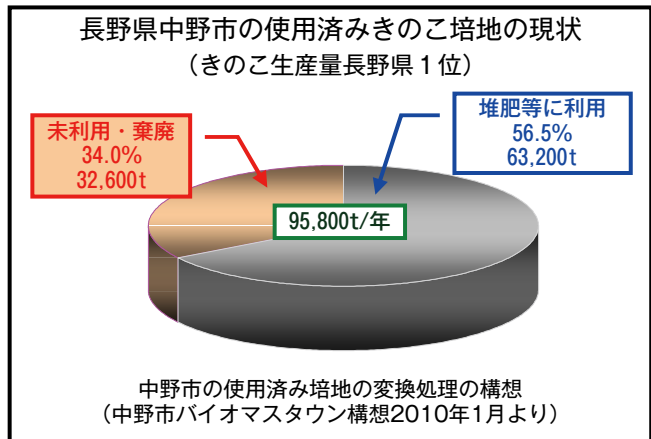
昨今、きのこの人工（培地菌床）栽培は、消費者の健康趣向とともに、きのこの種類・生産量ともに年々増加傾向にあります。

きのこを収穫後の培地（廃菌床）は、堆肥にする等の再利用方法が広く知られていますが、この方法は、堆肥化・コンポスト化の時間と手間・場所の問題など、再利用が進んでいないのが現状です。

また、使用済培地はきのこ生産量拡大により現状の再利用だけでは飽和状態となっています。

一方、きのこ経営においては、販売価格の低迷、燃料、資材の高騰により、経営環境の厳しさが増えています。

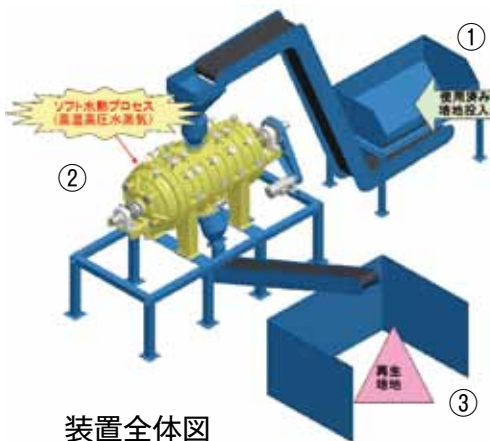
そのため、培地資材コスト低減と、使用済培地の有効利用を目的に、堆肥化、燃料化、飼料化更に培地として再使用が、きのこ生産業者の間で試みられていますが、有効な再利用処理方法をいまだ見出せていないのが現状です。



そこで、きのこ生産者のコスト削減に寄与し、かつ、廃棄物ゼロに貢献する理想的で、持続可能な循環型きのこ栽培システムとして、『ソフト水熱プロセスによる使用済きのこ培地再生処理技術』の研究開発を推進しております。

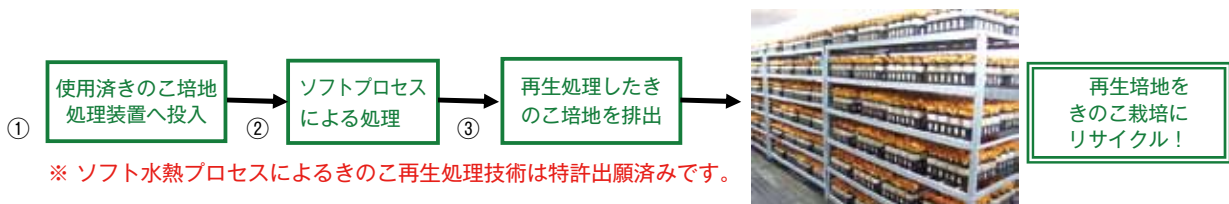
2.2 ソフト水熱プロセスとは？

ソフト水熱プロセスとは、100℃～200℃の高温高圧の水蒸気で、乾燥水蒸気 加圧熱水及び飽和水蒸気の各状態を制御し、水のみで他の化学薬品を使うことなく、滅菌、及び有機物質の分解・抽出更に乾燥を行う化学反応のことで、油で汚れた手を洗うときに、冷たい水道水よりも、ある程度熱いお湯で洗ったほうが、油汚れがよく落ちるのはこの現象を延長したものです。



『100℃以上のお湯（水蒸気）を反応媒体とし、不用品物を洗い流す』のが、ソフト水熱プロセスです。

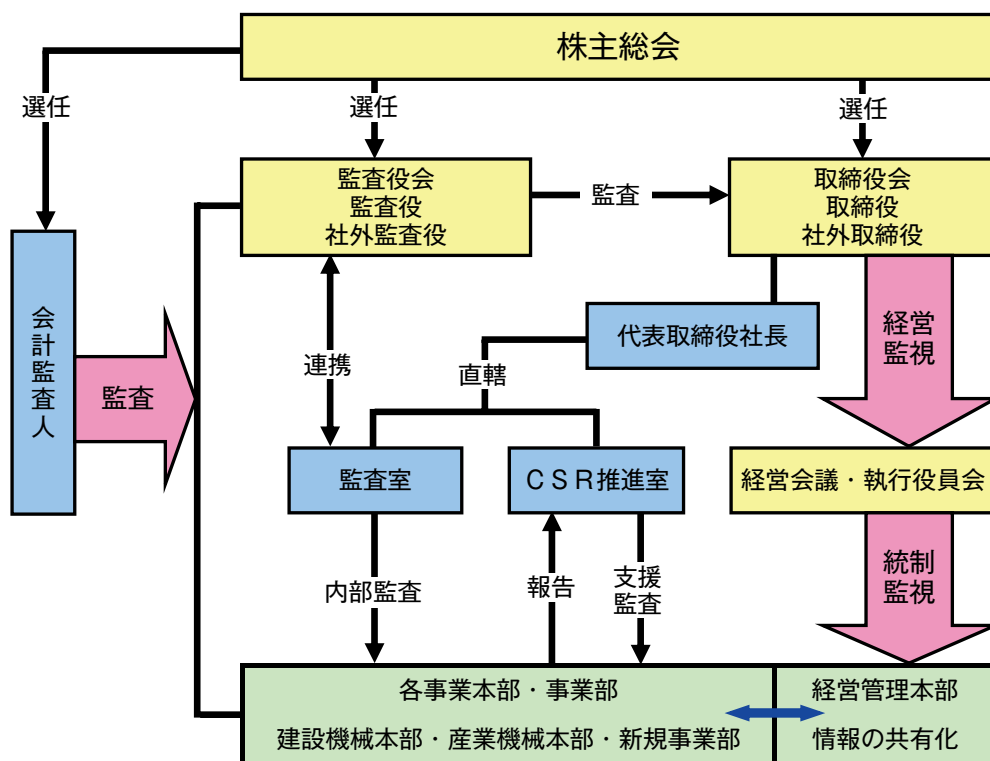
『ソフト水熱プロセスによる廃きのこ培地再生処理の簡単フロー』



1. コーポレートガバナンス

1.1 コーポレートガバナンス体制

当社は、コンプライアンスの重要性を認識し、事業活動に対する説明責任や、より一層の経営の効率性、健全性、公平性ならびに透明性を目指して、経営体制の整備をすすめています。そのために株主の皆さまや一般のお客様をはじめ、取引先、地域社会、社員など、あらゆるステークホルダーとの良好な関係を築くことがお客様の満足に繋がるものと考えおり、そのためには、株主総会、取締役会、監査役会、執行役員会など、機関機能を一層強化・改善・整備しながら、コーポレート・ガバナンスを充実させていくことが必要と考えております。



1.2 内部統制

1.2.1 内部統制システム

当社は、株主をはじめ、あらゆるステークホルダーに対して健全な事業活動を実行するため、金融商品取引法で求められている内部統制報告制度に対応した「内部統制基本方針」を定め、内部統制システムの整備・運用体制を構築し、管理運営しています。このシステムの運営により、財務の信頼性について2012年度は、J-SOX法に適応した内部統制であることが確認されました。

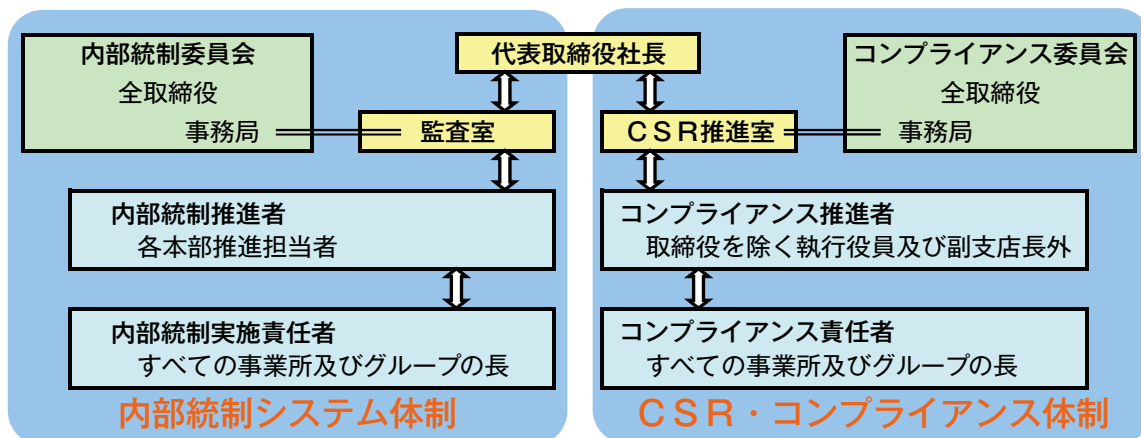
1.2.2 内部統制実施体制

内部統制に関する専門部署として社長直轄組織の監査室があり、「内部統制委員会」を運営しています。監査室は、内部統制システムに基づき全事業所を対象に、監査指導を定期的実施しています。違反や問題のあった事項については委員会に報告し、審議しています。

1.2.3 内部通報窓口（企業行動ヘルプライン・ホットライン）

公益通報者保護法に基づき当社では、企業の不祥事をいち早く発見でき、通報した社

員に不利益な取扱いから保護するための内部通報システムとして、「企業行動ヘルプライン・ホットライン」を設けております。このシステムは、社内のコンプライアンスを徹底する意味で非常に重要なことであると捉えています。当社では、通報窓口として社内（窓口として女性担当員もいます）と社外（顧問弁護士）に、また、社外からの通報やご意見を受け付けるために、ホームページ上に窓口を設けています。



2. CSR・コンプライアンス

2.1 CSR・コンプライアンス体制

CSR・コンプライアンスに関する専門部署として社長直轄組織のCSR推進室があり、「コンプライアンス委員会」を運営しております。当社独自の「コンプライアンスチェックシート」により、全事業所を対象に自主点検を年2回定期的実施し、コンプライアンス意識の徹底を図っております。

2.2 CSR・コンプライアンス方針とその周知

当社及び社員が果たすべき社会的な役割と責任を明確にした「企業行動憲章」、「行動規範」、「倫理要綱」を、機会あるごとに社員一人ひとりが確認できるように「マエダ企業行動憲章」と題する携帯用冊子を配布しています。また、毎年新任管理者・監督者について、「企業行動憲章」に基づいたCSR・コンプライアンス教育を実施しています。

2.3 個人情報の管理

当社は、「個人情報保護法」に定められた個人情報に関して「個人情報管理規則」を制定し、保護・管理を行っております。また、近年、社会問題視されているソーシャルメディアを通じた情報漏洩やコンピューターウイルスによる被害を防ぐため、「情報システムセキュリティー規則」を定めて漏洩やウイルス感染防止に努めております。

2.4 知的財産管理

当社は、「発明・考案取扱規定」を制定し、知的財産を管理する部署として知財グループを設置し、運営しております。

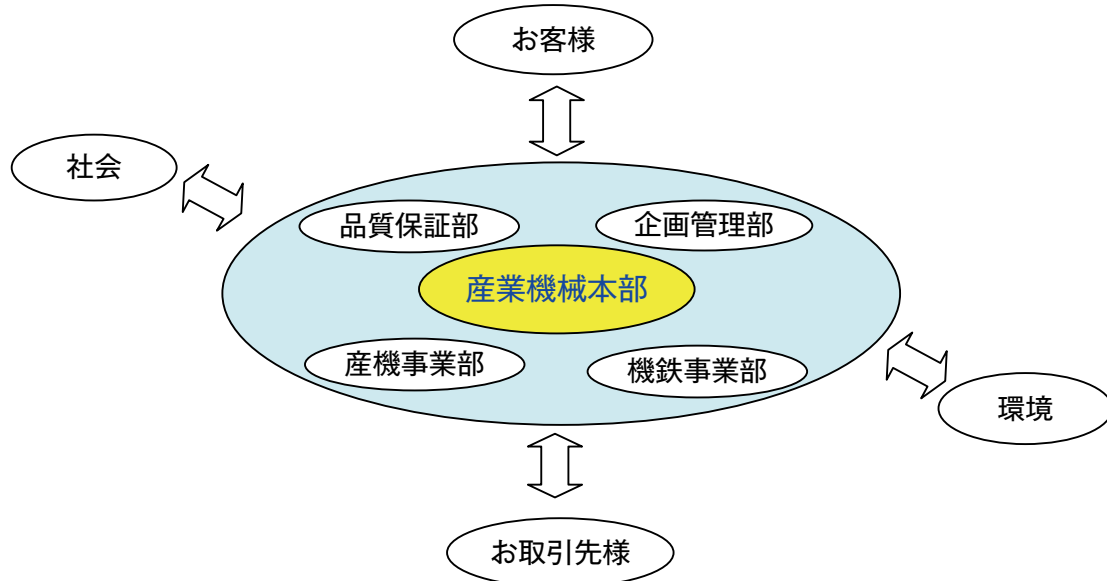
3. リスク管理

「企業行動憲章」の実行を阻害するリスクに対して、当社では、「リスク管理方針」及び「リスク管理規程」を制定し、管理部が運営する「リスク管理委員会」でステークホルダーに重大な影響を及ぼすリスクの特定や対策等について討議し、発生しうるリスクに対応できるよう管理しています。また、2011年3月に発生した東日本大震災、翌日に発生した長野県北部地震、この長野県北部地震では関係会社である㈱ネオックスが甚大な被害を被っていますが、このことを教訓に、2012年度、周辺地域からの救助要請に応えられる事業継続計画（BCP）の構築に着手しています。2012年度では、このほか従業員及びその家族の安否を確認するシステムの構築、全事業所40箇所に対する、災害対策用品配付を行いました。

自社製造・製品の取組み

— 産業機械本部を取り巻くステークホルダー —

私たち産業機械本部は、自社で企画・開発（設計）・製造した製品について、建設業を始めとして必要とされるお客様すべてに対し、安全で確かな品質と環境に配慮した製品を提供しています。私たちのステークホルダーは、目の前のお客様や間接的に関係するお客様はもとより、開発（設計）・製造に携わっていただいたお取引先様、地域社会、大きく言えば地球環境等、あらゆるステークホルダーが対象です。私たちの考える「お客様の満足」は、これらのステークホルダーの方々が満足されることと考えております。



□□ 産機事業部編

産機事業部は、「かにクレーン」をはじめとする自社製品の開発・製造・販売及びサービス事業を通じて日本国内はもとより世界のネットワークを活用して、マエダブランド製品を展開しています。世界各国のお客様からの要望により、新たな製品開発に意欲的に取組み、日本・欧州・米州・豪州の定める製品規格に合致した製品開発とより厳しい社内品質基準により、「安心と安全」を提供しています。

環境については積極的に電動化機種、排ガス規制対応機種、騒音対応機種の開発と販売に取り組んでいます。

エンジン・電動併用
MC305CRME 型

電動モータ



— 出会いから広がる MAEDA の輪 —
Intermat 2012へ出展（フランス パリ）



海外の販売代理店会議
Dealer conference（前田製作所 本社）



浜松花と緑の祭に出展



サービストレーニング
Training in India（インド チェンナイ）



自社製造・製品

— 省スペース・省力化の商品でお客様にご提案 —

MC-104CR

運搬用トラックの荷台から外足場へ自走し、足場から建築内へ進入



MC-305CRMS

アタッチメントを使用したガラスはめ込み作業
トラック等乗り入れが出来ない植栽（緑地）と建物の間の歩道にかにクレーンを設置してガラスの据付



MC-235CW

狭い墓地通路
クローラー運搬台車で運搬した墓石を建立する作業
多様なアウトリガ張出パターンを持つかにクレーンならではの作業



MC-104CR

大判ガラスのはめ込み作業
クレーンポスト取付位置が低いので天井の低い場所でもクレーン作業が可能

— 環境にやさしい製品 —

静かでクリーンなエンジン（MC-235CW・MC285CGW-2）

- ・北米 EPA & CARB 第3次規制対応エンジンを搭載（MC285CGW-2）
- ・国内自主規制対応エンジンを搭載（MC-235CW）
- ・低騒音型建設機械認定の取得（MC-235CW・MC285CGW-2）



電動によるクリーンな走行&クレーン作業

電動ユニットを装着することにより、エンジンを使わず、走行及びクレーン作業が可能となります。

排気ガスを出すことのできない屋内等の現場で使用されます。モータのインバータ制御や省エネモードなどの数々の機能を搭載し、快適でクリーンな作業を提供します。

- ・国際規格 IEC60034-30の IE2 対応電動モータを搭載（CE仕様）



電動制御盤

電動モータ

ペーパーレス化による紙の使用量の削減

生産活動に使用する書類（図面・設計変更 通知）を電子化することにより紙の使用量削減と効率化を行っています。

品名	数量	単位	規格	備考	手帳(枚数)
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1
MC285CGW-2	1	台	MC285CGW-2		A1 1

自社製造・製品

□□ 機鉄事業部編

— お客様の理想を“カタチ”に —

機鉄事業部は、お客様の希望・抱えている課題など様々な思いに対し、計画～設計～製作～試験～据付～立上まで一貫してお応えし、お客様の作業環境改善・効率向上の位置役を担っています。

- こんなもの作れないだろうか？
- こうなれば良いのだけれど…
- これができれば安全で高効率だが…



特に最近では《復興・除染》に向けた、限られた使用条件の中で、求められる性能を発揮できる特殊用途機械のご要望が多く、納めさせていただいた機械は高い評価をいただいております。



- “かにクレーン”のboom先端に高圧洗浄ノズルを装着した除染用壁面洗浄機です。boom伸縮+旋回+起伏+ノズルチルトにより広範囲な壁面洗浄ができます。

- こちらは超小型の走行台車です。お客様ご要望のサイズに性能を凝縮させた専用の機械です。



- インフラ整備に欠かせない、30 t ダンプトラックとシールドマシン



- 各種工場設備の製作

鉄道車両移動用
トラバーサー



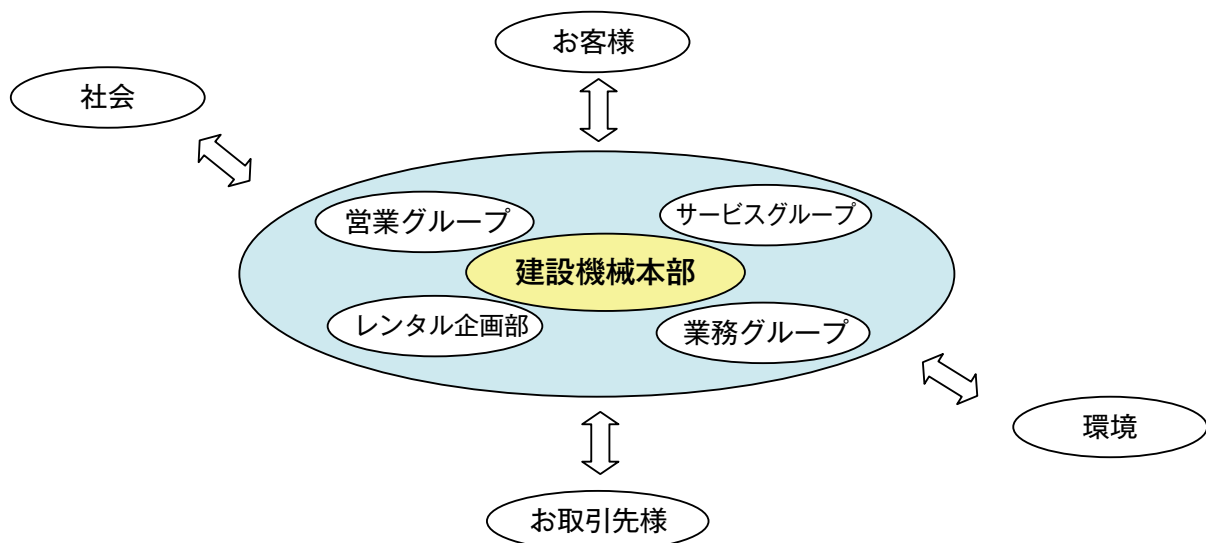
クリーン IT 設備他の製作

販売・サービス商品の取組み

— 建設機械本部を取り巻くステークホルダー —

私たち建設機械本部は、コマツ製品の販売・点検・整備・機械レンタルを通して建設機械を必要とされているお客様に対してあらゆるサービスを提供しています。私たちのステークホルダーは、建設機械の販売・整備・レンタルを通してのお客様と各種機械メーカー等のお取引先様、地域社会、環境リサイクル機械やハイブリッド機械等が大きく関与する地球環境などあらゆるステークホルダーが対象です。

私たちの考える「お客様の満足」は、これらステークホルダーの方々が満足されることと考えています。



1. ハイブリッド油圧ショベル

Hybrid

2012年12月には日本国内のハイブリッド油圧ショベルの累計販売台数が1000台を突破しました。

お客様の環境に配慮する考えと、燃料費が抑えられる実益が融合された結果です。

HB205をご購入頂いたお客様、レンタル21よりHB205をレンタルされたお客様から、燃費のよさに驚かれている声がたくさん届けられています。

建設機械も自動車も低燃費の決め手は「ハイブリッド」です！



これまでにハイブリッドが稼働したことにより、全国では標準機と比べて約6,900kℓ（ドラム缶約3.5万本分）の燃料消費量低減、1.8万t（約910万m³=東京ドーム7.3個分）ものCO₂を削減したことになります。（*1）

現在、同クラスの油圧ショベルの国内販売台数の約2割以上がハイブリッド車になっています。

*1 KOMTRAX データに基づき、建設機械の平均的使われ方から算出した社内基準で試算した数値です。

2. 点検・整備

建設機械は法で定められている特定自主検査の他にも定期点検や整備作業があります。

点検の依頼にはお客様のご都合に合わせ、お客様の昼休み時間等に実施しています。

また、機械の故障連絡に対しては長野・山梨・愛知・三重県下の26店舗のマエダネットワークをフルに活用し迅速に対応しています。

当社販売エリア外での故障等につきましては全国のコマツネットワークを活用しています。

いずれの場合も、迅速・確実・丁寧を心がけて対応させていただきます。



マエダネットワーク



(ポンプ交換作業)

機上に上がる場合は昇降台を使用し安全作業



特定自主検査

3. レンタル

レンタル21では水中ポンプや草刈機等からミニショベル・ミニホイール、大型油圧ショベル・ホイールローダ・ブルドーザ・環境リサイクル機械等の建設工事に関する機械や林業機械・鉄道保線機械・情報化施工機器まであらゆる分野のお客様にも対応できるように品揃えし、お客様の必要な時に必要なだけ必要な整備の整った機械をご提供できるようにしています。そして、お客様の省力化・コスト削減・工期短縮等のお役にたっています。



油圧ショベルとガラパゴス BR200T
油圧ショベルで木材を掴み、BR200Tへ投入すると木材がチップとなって排出されます。



PC58UUT (軌陸仕様)
鉄道線路上を走り、枕木交換作業等を行います。

4. 循環型工法等のご提案

4.1 環境リサイクル商品

コスト削減と環境負荷低減はお客様にとっても大きな関心事となっています。

当社では、この問題解決方法として、コマツ環境リサイクル機械を用いた現場循環型工法をお客様にご提案し、お客様からはコスト削減に大きく役立ったと高い評価を得ています。

現場循環型工法とは、建設現場で発生するコンクリートガラ、不良土、木くず等をその場でリサイクルすることです。



ガラパゴス BR380JG
+スクリーン BM545S

4.2 高性能林業機械

日本の60%以上は森林が占めており、国土保全・地球温暖化防止などの重要な役割を担っています。その森林を健全に維持していくためには適切な間伐・伐採が必要ですが、過酷な作業環境や作業員の高齢化等により十分に行われていないのが現状です。そこで活躍するのが林業機械です。油圧ショベルをベースとした林業仕様車を中心に、素材生産・間伐から育林・リサイクルまで多彩なアタッチメントや専用車をそろえ、林業の機械化のご提案をしています。



PC55MR-3林業グラップル・ウインチ仕様車



PC78US-8ハーベスタ・プロセッサ仕様車

4.3 情報化施工

建設工法に電子情報を活用し高精度・高効率の施工を行い、施工全体の生産性向上や品質の確保を行っています。

当社におきましても、いち早く情報化施工機器を導入し、お客様に情報化施工のご提案をさせていただき、工期短縮・生産性の向上などを肌で感じ取っていただいています。



ブルドーザマシンガイダンス (D65PX)



バックホウマシンガイダンス (PC200)

リアルタイムで切り盛り量が表示され、敷き均し・掘削が可能なシステムです。

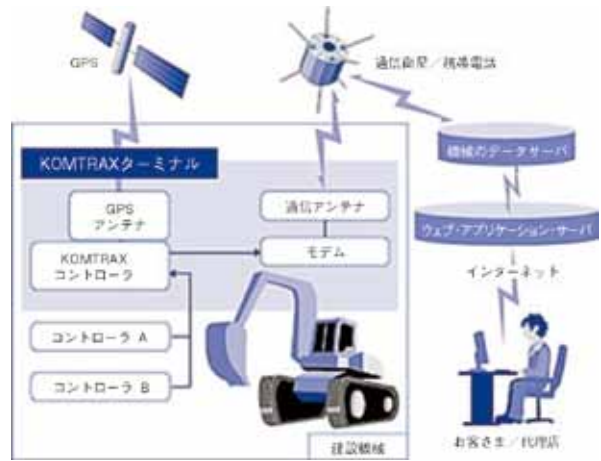
他にも各種マシンガイダンス・コントロール、転圧管理システム、GPS 測量・TS 測量等があります。

5. KOMTRAX

「KOMTRAX」はコマツが開発した「建設機械の情報を遠隔で確認するためのシステム」で、GPS・通信システムが装備され、位置情報や稼働状況、コンディション等の車両情報を無償でお客様に提供しております。

位置情報を把握することで、より効率的な配車管理ができ、セキュリティ対策としてもご利用いただけます。また、稼働時間・燃料消費量なども分かり、効率的な稼働や使用燃料の削減などに繋がります。

現場へ行くことなく、いつでも機械の状況が把握でき、お客様の車両管理業務の効率化が図れます。



【機械稼働状況】



【機械位置情報】



【省エネ運転支援レポート】



【エラー＆コーション発生情報】

当社では、機械にエラーが発生すると自動的にメールでお知らせする機能を利用して、いち早く機械の異常を察知して適切な点検修理を行い、また、同時にオイル交換や検査時期などのメンテナンスのチェックをすることで故障を未然に防いでいます。

その他に、KOMTRAX から送信されてきたデータを基に、指定期間の運転内容や負荷情報・燃料消費量・CO₂排出量を「省エネ運転レポート」にしてお客様にお届けし大変喜ばれております。

環境の取組み

□□ 環境経営

1. 2012年度環境方針

2011年は、東日本大震災とこれに伴う原発事故、また、長野県北部地震による被害が甚大で、震災から1年が経過しても、被災地では大変厳しい状況が続いています。

私たちは、震災被害の復興に向けて、積極的に取組みを進めていかなければなりません。自然の脅威、エネルギーや資源の希少性・重要性を深く認識し、環境保全の観点からも安全安心で持続可能な社会づくりにつなげていくことが求められています。

復旧復興に全力で取組みながら、地球と共生する社会を目指し、実現するためには、幅広い知恵を結集し、ルールを定め、行動を起こしていくことが必要です。

そこで、2012年度は、更なる「すべての事業、業務の効率化」への取組みを通して、あらゆるリスク対策を進め、CSRの推進と定着を図ります。

環境負荷低減に寄与する活動を更に推進します。

記

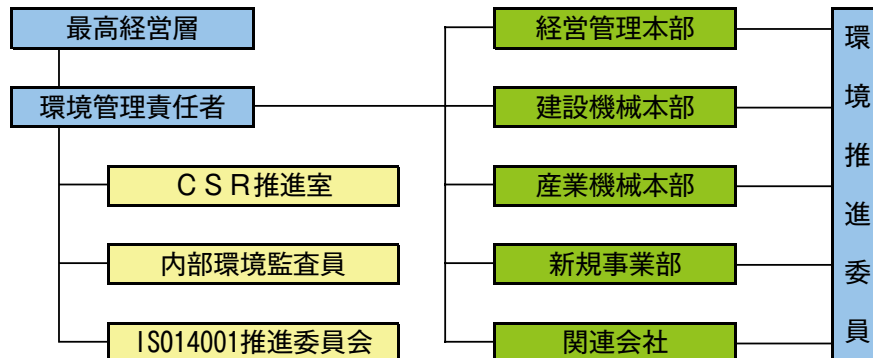
1. 社員一人ひとりが「前田版エコポイント」に登録し、環境貢献活動を実施する。
2. 地震など自然災害による事故・緊急事態対応訓練の実施により対応力を向上する。
3. お客様から信頼される商品・製品の設計・製造に取組み、環境負荷を低減する。
4. 設備・施設の省エネルギー対策を推進し、地球温暖化を防止する。

2. 環境経営活動の体制と展開

当社の環境経営は、ISO14001推進委員会（環境管理責任者を長とし各部門の代表で組織）が、環境マネジメントシステムの構築と維持管理に関する諸施策の審議を行い、経営トップに上申して管理レベルの向上を図っています。

ISO14001推進委員会の下部組織として課題別にフレキシブルにワーキンググループを設置し、問題点抽出と対策立案を行っています。

また、環境マネジメントシステムの活動単位となる各事業所に環境推進委員を置き、活動の推進と進捗管理に対する責任と権限を付与しています。



3. 環境関連法対応状況

環境に関する法律・規制、自治体の条例及び当社業界の順守事項については、ISO14001推進委員会で内容を特定しています。

また、これら順守事項を常に最新管理するため、定期的に調査・見直しを実施しています。

主な法令・条例	内容	実施部門
○大気汚染防止法	・ばい煙発生施設の届出 ・ばい煙量等の測定	(株)ネオックス
○水質汚濁防止法	・特定施設の届出 ・排出水の汚染状態の測定	(株)ネオックス 本社・工場
○浄化槽法	・定期水質検査 ・定期点検及び清掃の実施	設置事業所
○騒音・振動規制法	・特定施設の届出 ・騒音の測定	設置事業所
○廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産業廃棄物の適正処理 (保管・業者委託・特別管理産業廃棄物)	全事業所
○PCB 特別措置法	・PCB 廃棄物保管状況の届出	保管 1 事業所
○工場立地法	・特定工場の届出	本社・工場
○消防法 ○火災予防条例 ○PRTR 法	・危険物貯蔵所の許可 ・少量危険物貯蔵所の届出 ・第 1 種指定化学物質の使用・取扱量の把握及び排出量・移動量の届出	設置事業所 本社・工場 (株)ネオックス
○特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	・総括者・管理者の届出 ・汚染物質の排出測定	(株)ネオックス
○環境教育推進法	・環境保全の意欲の増進及び環境教育	全事業所

4. 環境監査

4.1 内部環境監査

当社の環境マネジメントシステムが、ISO14001：2004規格要求事項に適合し、適切に運用され継続的に改善が図られているか確認するために、内部環境監査を行っています。

内部環境監査における指摘事項は、監査終了後1ヶ月を目処にフォローアップ監査で内部環境監査員が改善の確認をしています。

2012年度内部環境監査結果

日程	2012年6月
要観察項目	82件（前年度81件）

4.2 外部審査

2012年度の外部審査（更新審査）結果は、右表の通りとなりましたが、審査登録機関より「ISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムが包括的に継続して満足している」との判定結果をいただきました。

指摘事項に対する改善は、該当受審部門において改善を完了しています。また、ISO14001推進委員会で審査結果の対応検討を行い、全社に水平展開してシステム改善に繋げています。

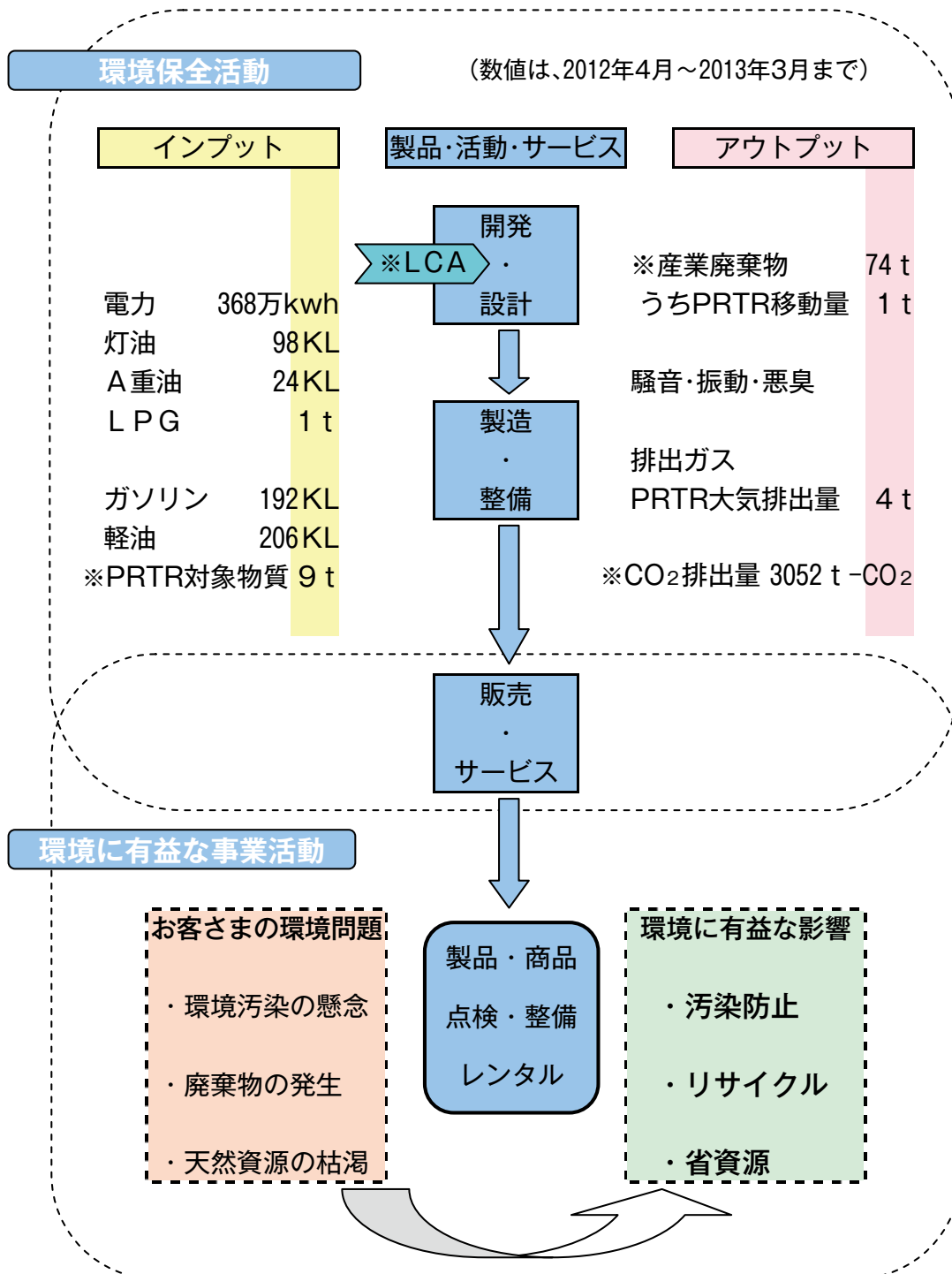
2012年度外部審査（更新審査）

グッドポイント	2件
カテゴリーB	1件
改善の機会	11件

□□ 環境データ

1. 環境負荷の概況

この図は、当社の設計・製造・販売・サービスの工程の中で、環境に与える負荷の状況と、環境に有益な事業活動の概念を表したものです。



※ LCA：ライフ・サイクル・アセスメント

※産業廃棄物：焼却・埋立処分されるもの

※ PRTR 対象物質：使用・取扱量が1トン以上の事業所の合計

※ CO₂排出量：使用した電力や重油など（インプットの欄）に「CO₂排出係数」（H11年度地球温暖化対策推進法に基づく環境省の算出方法ガイドライン）を乗じて算出。

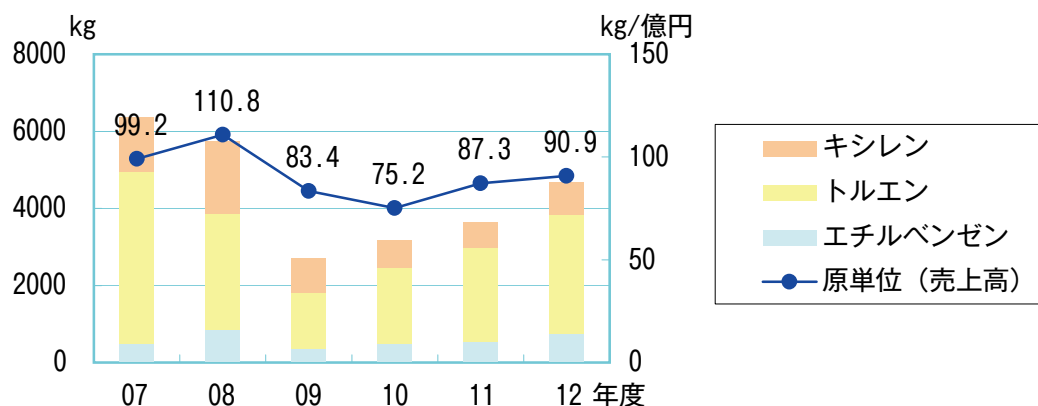
2. 化学物質の管理

2.1 本社・工場

2012年度は、クレーンなど自社商品の大型機種が前年度比で増産となったこと、塗装仕様の膜厚を厚く変更したことに伴い化学物質の使用量も増加しました。これにより原単位（売上高）は、使用量の増加分を吸収できず前年比で悪化しました。なお、キシレン、トルエン、エチルベンゼンの合計使用量は、2007年度比で73.8%と減少しています。

今後とも特定化学物質の含有率が低いものへの転換を推進し、環境負荷低減を図ります。

○自社商品の第1種指定化学物質（塗料・シンナー）使用量推移



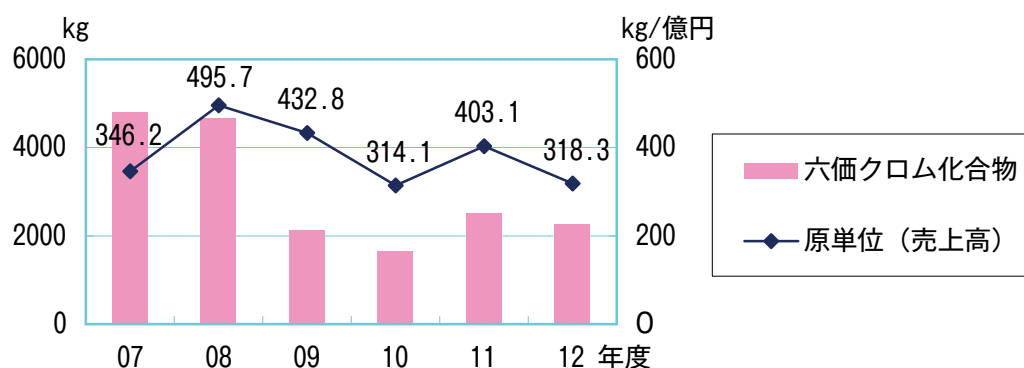
年 度	07	08	09	10	11	12
第1種指定化学物質使用量 (kg)	6,366	5,747	2,712	3,160	3,638	4,697
自社製品売上高 (億円)	64.2	51.9	32.5	42.0	41.7	51.7

2.2 関係会社

(株)ネオックスの六価クロム化合物は、シリンダーのメッキ加工に使用しています。

2012年度は、売上が向上しましたが前年度比で使用量（注1）は減少し、原単位も改善しました。今後とも化学物質の適正な管理とメッキ廃液のリサイクル化などの改善により、環境負荷低減を推進します。

○(株)ネオックスの特定第1種指定化学物質（六価クロム）使用量推移



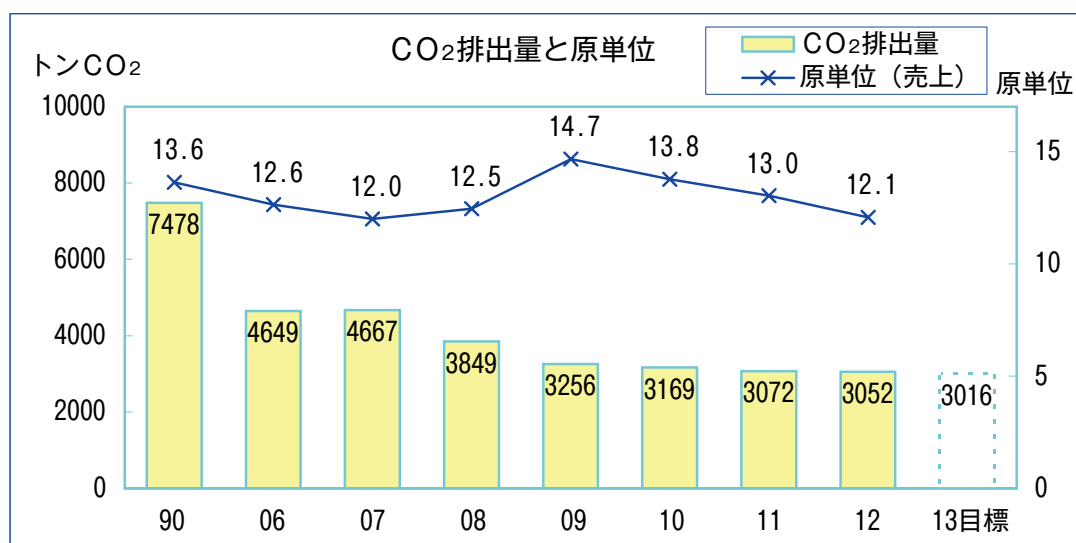
年 度	07	08	09	10	11	12
六価クロム化合物 (kg) *	4,788	4,674	2,138	1,643	2,499	2,260
売上高 (億円)	13.8	9.4	4.9	5.2	6.2	7.1

* 特定第1種指定化学物質（注1）使用量にメッキ槽の入替量は含まれていません。

3. 地球温暖化防止（CO₂排出量削減）

3.1 環境目的及び目標

- 環境目的
地球温暖化防止対策を推進し CO₂排出量を2012年度までに2009年度比で6.8%削減し、93.2%にする
[全社排出量を2012年度までに3,035トン CO₂にする]
- 2012年度環境目標
CO₂排出量を2011年度比で0.7%削減する
[全社排出量を3,035トン CO₂にする]



3.2 取組み結果

各エリア・部門は、設定された目標に対して独自の方策を立案し、削減活動を推進しました。

(1) 目標達成のための方策

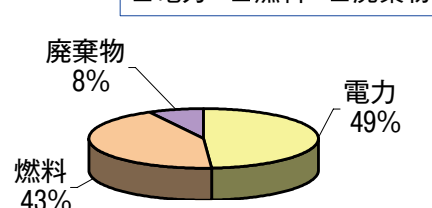
- ①電気： ・蛍光灯の間引き、待機電力削減用コンセント、パソコンの省エネモード設定
・夏季のクールビズと冬季のウォームビズ（※1）
・夏季の節電活動は全社をあげて取組みを推進
- ②燃料： ・エコドライブ、KOMTRAX（※2）による車両移動の効率化維持
- ③廃棄物： ・分別による可燃ごみの削減、その他産業廃棄物削減の方策を実施

(2) 取組み実績と今後の課題

2012年度のCO₂排出量は、3,052トンと目標未達になりましたが、前年比で99.3%と削減されました。また、売上高の原単位も2009年度の14.7に対し12.1と改善されました。

※1：地球温暖化防止のため「クールビズ」は夏のエアコンの温度設定を28℃に、「ウォームビズ」は過度に暖房に頼り過ぎないビジネススタイルです。
※2：KOMTRAX（コムトラックス）とは、インターネットによる車両理システムです。

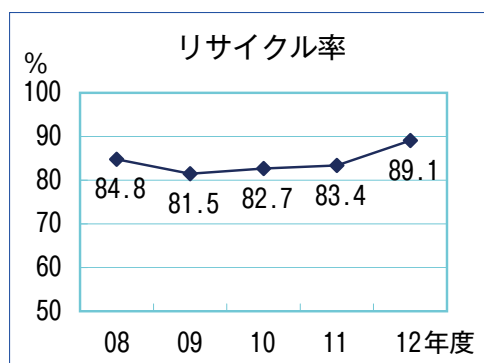
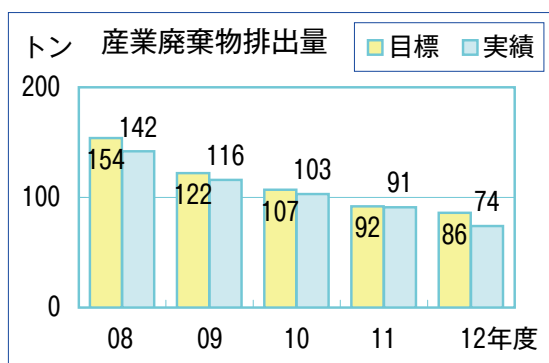
排出量内訳



4. 産業廃棄物排出量削減

4.1 環境目的及び目標

- 環境目的
3Rを推進し、産業廃棄物排出量を2014年度までに2011年度比で10%削減し90%にする
[全社排出量を2014年度までに80トンにする]
- 2012年度環境目標
産業廃棄物排出量を2011年度比で3.5%削減する
[全社排出量を86トンにする]



※産業廃棄物とは、環境目的及び目標を達成するために当社が定めた用語で、焼却・埋立処分される廃棄物をいいます。

4.2 取組み結果

(1) 目標達成のための方策

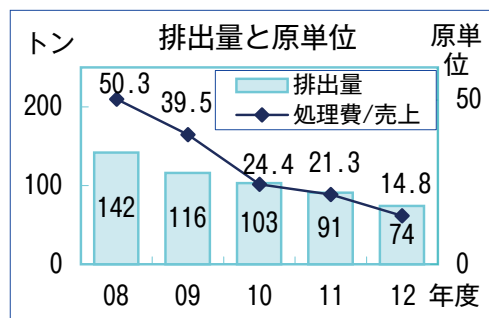
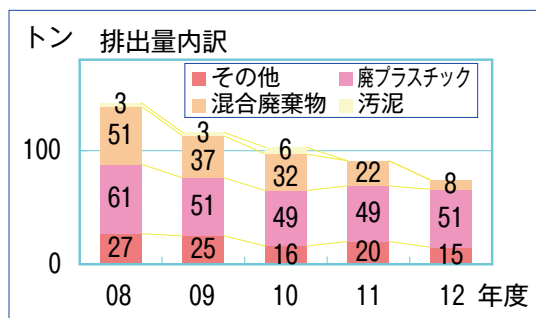
各エリア・部門は、事業所の実態に合った方策で3R（※1）を推進しました。

- ①分別：・混合廃棄物を削減するため一般廃棄物と産業廃棄物を適正に分別する。
・廃油や金属くずなど有価物を分別しリサイクルを推進する。
- ②委託：・リサイクル業者への委託ルートを本社、支店単位で開拓する。

(2) 取組み実績と今後の課題

2012年度の産業廃棄物の排出量は、74トンとなり削減目標を達成し、2011年度比で10%削減の環境目的も達成しました。また、リサイクル率も前年に比べ6.8%向上しました。

2013年度は、新たな環境目的及び目標を設定し、削減活動を推進していきます。



※1：3R（スリーアール）とは、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードです。
Reduce（リデュース）発生抑制 Reuse（リユース）再使用 Recycle（リサイクル）再資源化

5. 環境会計

●環境保全コスト

環境保全コスト区分		環境保全コスト区分		2010年度		2011年度		2012年度	
大区分	中区分	費用 (千円)	%	費用 (千円)	%	費用 (千円)	%	費用 (千円)	%
事業所内 コスト	公害防止 コスト	大気汚染防止		2,805		5		5	
		水質汚濁防止		6,059		8,559		7,047	
		土壌・地下水汚染防止		0		0		0	
		騒音、振動防止		194		194		194	
		地盤沈下防止		0		0		0	
		その他公害防止		589		589		2,224	
		小計	9,647	6.7	9,347	7.8	9,470	4.5	
	地球環境保全 コスト	温暖化防止・省エネルギー		3,027		4,527		62,911	
		オゾン層破壊防止、その他		0		0		0	
		小計	3,027	2.1	4,527	3.8	62,911	29.9	
	資源循環 コスト	産業廃棄物削減、リサイクル		2,903		2,903		4,730	
		節水、雨水利用等コスト		0		0		0	
		廃棄物処理費		7,178		6,029		9,417	
	小計	10,081	7.0	8,932	7.5	14,147	6.7		
	事業所内コスト計	22,755	15.7	22,806	19.1	86,528	41.1		
上・下流コスト	グリーン購入のためのコスト		0		0		0		
	環境配慮設計コスト		857		603		879		
	小計	857	0.6	603	0.5	879	0.4		
管理活動コスト	環境教育費用		7,898		8,047		7,871		
	EMS 運用コスト		26,501		26,700		26,660		
	環境負荷の監視・測定		876		876		814		
	環境関連部門コスト		0		0		0		
	小計	35,275	24.4	35,623	29.8	34,345	16.8		
研究活動コスト	研究活動コスト		85,672	59.3	60,349	50.6	87,889	41.7	
社会活動コスト	周辺美化対策コスト		0		0		0		
	地域支援・環境関連基金・寄附等		0		0		0		
	情報公開・環境広告コスト		0		0		0		
	小計	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
環境損傷コスト	土壌汚染、自然破壊等の修復コスト		0		0		0		
	環境の損傷に対応する引当金		0		0		0		
	環境保全に関わる和解金、補償金		0		0		0		
	小計	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
環境保全コスト	合計	144,559	100	119,381	100	210,641	100		

※設備・施設の償却費は含まれません。

●環境保全効果

項 目		2010年度	2011年度	2012年度	
事業所 エリア	産業廃棄物、 リサイクル	総排出量（産業廃棄物+リサイクル）	595 トン	549 トン	677 トン
		産業廃棄物排出量	103 トン	91 トン	74 トン
		基準年比（2002年度）	19 %	15 %	12 %
		リサイクル率	83 %	83 %	89 %
		リサイクル量	492 トン	458 トン	603 トン
事業活動 CO ₂	事業活動 CO ₂	3,169 t/CO ₂	3,072 t/CO ₂	3,052 t/CO ₂	
	1990年度比	42 %	41 %	41 %	
省エネルギー 省資源	用紙購入量	2,011 千枚	1,931 千枚	1,815 千枚	
	基準年比（2000年度）	96 %	92 %	87 %	
	電力使用量	3,613 千 kWh	3,465 千 kWh	3,682 千 kWh	
	基準年比（2000年度）	76 %	73 %	77 %	

※1990年の事業活動 CO₂排出量は推定値7,478 t / CO₂

※基準年比で、2002年度比は環境目的及び目標に設定した活動、2000年度比は維持活動です。

●環境負荷原単位指標

項 目	2010年度	2011年度	2012年度
事業活動 CO ₂ 排出量 ÷ 売上高（t-CO ₂ / 億円）	13.78	13.02	12.06
産業廃棄物排出量 ÷ 売上高（トン / 億円）	0.45	0.39	0.29
産業廃棄物処理費 ÷ 売上高（億円 / 億円）	0.02 %	0.02 %	0.01 %

□□ 環境教育・啓発

1. 環境教育訓練

1.1 階層別環境教育

全従業員・構成員（場内協力業者含む）がそれぞれの役割・責任を認識し、日々の業務の中で環境活動を推進するため、階層別の教育を実施しています。

- 新入社員教育 ・入社時に実施（環境関連基本教育）
- 環境推進委員教育 ・毎年4月実施（事務局による環境方針、活動計画等解説）
- 一般社員教育 ・毎年4月実施（所属長による環境方針、活動計画等解説）

1.2 内部環境監査員教育

内部環境監査員の監査レベルの向上を図るため、年1回リフレッシュ教育を実施しています。

- 内部環境監査員リフレッシュ教育 ・内部環境監査員受講者
- 内部環境監査員養成教育 ・内部環境監査員認定者

1.3 環境に関する専門教育

各エリア・部門が必要な教育を特定し、計画を策定して教育を実施しています。

- 特定業務要員教育 ・特定業務（レンタル機の出庫点検、メッキ液廃水処理等）の手順書に基づく職場教育、講習会への参加等
- 専門教育 ・危険物取扱者、環境公害（水質汚濁等）防止の測定業務者への教育

1.4 事故・緊急事態対応訓練

事故発生・緊急事態発生時の対応について、各事業所毎に模擬訓練（1回/年）を教育計画に織込み、関係者の実践教育及び手順の有効性のテストを実施しています。

2012年度は、環境方針に示された『地震など自然災害による事故・緊急事態対応訓練の実施により対応力を向上する』を受けて、建機本部の支店単位を基本とし4事業所で訓練を実施しました。

●火災想定

[松本営業所]



消火器の放射訓練



関係機関への通報訓練

●流出災害想定

[山梨営業所]



流出場所への迅速な移動



流出の拡散防止措置

2. 環境啓発

2.1 オリジナル活動の表彰

各エリア・部門が推進する本来業務に直結した環境負荷削減活動（オリジナル活動）の効果・成果に対する表彰を行い、下記事業所が受賞しました。（2012年度）

受賞部門	環境目標	内容・課題等
○優秀賞 建機本部 三河営業所	ハイブリッド建機 HD205を拡販する	県、国交省指名業者及び下請業者に対し定期的にハイブリッドの優位性をPRした。既導入業者の燃費情報、評価等も提供し、入れ替え更新時には必ずHBを優先して促進した。
○優良賞 建機本部 長野店	かにクレーンのレンタル売上を向上する	①省力化機械であるかにクレーンを石材業界以外にも貸し出し売り上げ増を図った。②建築、設備、レンタル同業者へアピールしかにクレーンの稼働率UPを目指した。
○優良賞 産機本部 機鉄設計課	MDT30E4iの特定特殊自動車改正基準適合認定を取得する	①前田建設との連携により、量産先行機の製作。実機試験、排ガス測定の実施をした。②エンジンメーカーとの協力により、認定エンジンの認定作業を前倒して実施した。
○優良賞 建機本部 営業企画部	メンテナンス整備売上高を確保する	健康診断サービス整備契約の促進①メンテ整備契約獲得の教育を企画し実施した。②オールサポート受注キャンペーンを企画し実施した。
○努力賞 建機本部 レンタル企画部	環境商品レンタル売上を向上する	環境分野需要取り込み拡大の企画・実施フォロー①ターゲットユーザの取り込みに向けた告知活動を展開した。②環境関連に合った汎用機械を設置した。
○努力賞 建機本部 名古屋北営業所	震災対応環境商品レンタル売上比率を向上する	東日本大震災のゴミ問題（ガラ、混廃等）を環境商品レンタル機でリサイクル処理の迅速化を図った。①地元レンタル会社とタイアップし導入を促進した。②現地工事情報の収集を行い提案をした。

3. コミュニケーション（環境情報）

3.1 加入団体

当社は、行政、環境関連団体に参加し、参加団体とのコミュニケーションを図ると共に地域、業界の環境保全活動推進に参加・貢献しています。

加入団体（*敬称略 順不同）

- 一般社団法人長野県環境保全協会
- 長野市「ながのエコ・サークル」

3.2 活動のあゆみ

当社が歩んできた主な活動です。環境保全活動から、CSR 戦略の充実により、すべてのステークホルダーから信頼される企業づくりを推進いたします。

（2010年以前は『CSR 報告書2012』をご覧ください）

年 度	活 動
2011年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 全社環境目的を達成 ● 「環境報告書」を「CSR 報告書」に統合しホームページに掲載
2012年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 全社 ISO14001：2004更新審査 ● 全社環境目的を達成

□□ 地球がステークホルダー

1. 地球人の一員として

1.1 ～社員と家族～ マエダ版エコポイント（Me-Pon）制度の運用

前田版エコポイント制度とは、前田建設工業グループの活動方針の主旨である、

- ①地球をステークホルダーと考え、地球人の一員として自覚すること
- ②全員で誇りをもって愚直に取り組むこと
- ③家族の皆様と一緒に活動を進めていくこと

を、「業務外」でグループ構成員全員でコツコツと取り組み、活性化し、その結果を社会の皆様に向けて発信していく制度です。



【Me-Pon アイコン（社内掲示板）】

当社パソコンのノーツにあるアイコンから登録し、ポイントを貯めたり、商品と交換の申請をします。

— 具体的なエコアクションの一例 —

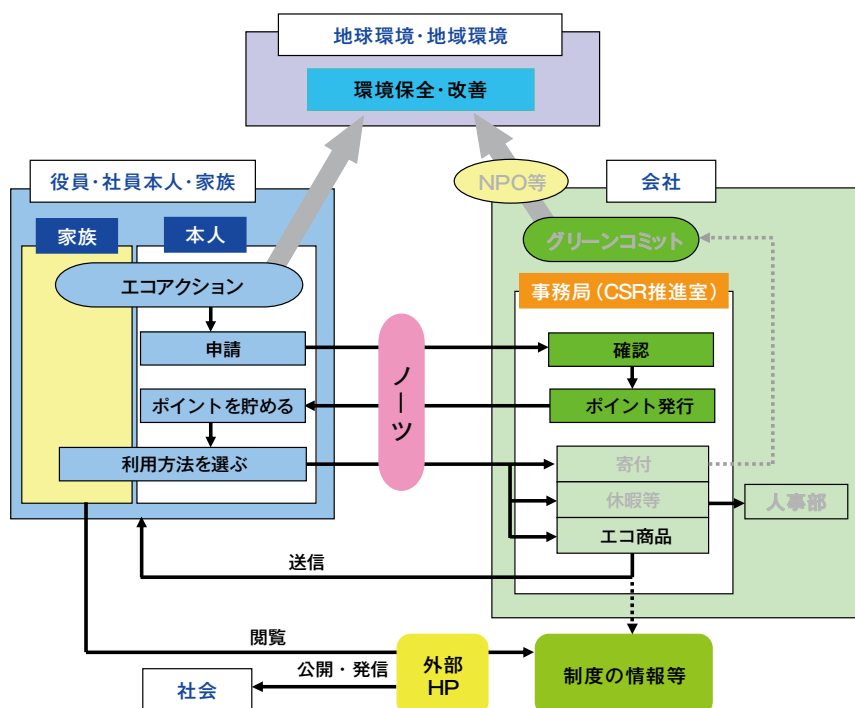
- 3つの約束（自分でできる3つの環境貢献活動）
- エコ通勤の実施
- チャレンジ25への参加、ボランティアに参加
- 環境家計簿の記入、エコ資格の取得

この制度は、行った活動に対して個人にポイントを与え、集めたポイントによって商品と交換できるシステムとなっており、2012年1月より、運用開始しました。

2012年度は、当社の全事業所で説明会を実施し、183名が登録しました。

【Me-Ponの概略フロー】

全社員・家族を含めた全生活領域で環境活動を推進する独自の制度です。



1.2 ～社員と社会貢献～ 社内報での意識向上

前田製作所 社内報『CSR 認定 どーも右衛門さんのエコライフ (抜粋)』◆◆◆
 さて Me-Pon (前田版エコポイント) に登録し10ヶ月が経ちました。

ポイントは750ポイント貯まり、来月は800ポイントを超えるため、そろそろ商品交換を考えています。私の交換予定品は次の2点 [Me-Pon 交換商品の社会貢献] です。

- ①酒飲みの必需品 徳利、酒は外せない。 ②小岩井グルメファンクッキー
 (全員には無理ですが皆で分けようか～編集室が直ぐに食いつきそう (笑))

Me-Pon 交換商品



社会貢献



商品番号	商品名	商品番号	商品名
11SM - S012	【宮城】 埴焼 酒器揃 (3点揃)	11SM - S018	【岩手】 小岩井グルメファンクッキー
	<p>◆商品スペック◆ 三百年以上の歴史ある埴焼。地元・仙台で採れる粘土を用い、使い易さを第一に考え手作りで生産しています。酒器揃は徳利を花入に、盃を薬味入れ等にと、使い手の皆さまの自由な発想でお使いください。</p> <p>●3点揃 (徳利×1、盃×2) ●仙台市</p>		<p>◆商品スペック◆ 20年来のロングセラーを誇る小岩井の商品です。小岩井農場のバター、チーズをたっぷり使用し、いずれも甘さを抑え、材料本来の風味を生かしてサククリと焼き上げました。</p> <p>●クッキー4種類×2缶 (計8種類) ●雫石町 ●賞味期限 常温保存で製造日より180日</p>
ポイント	440P	ポイント	390P

Me-Pon に登録して、毎月3つの約束、自宅の電気、ガス、水道、灯油、ガソリン、可燃ごみの使用量を申請します。

そうすることにより、時系列で自宅ですでにどれだけの環境負荷を与えているか確認できます。おのずとエコモードに気持ちが切り替えられます。

当然家計にもやさしくなりますヨ～～。

Me-Pon (前田版エコポイント制度) 未登録の方に入会を是非おすすめします。

どーも右衛門さん、いつもお役立ち情報をありがとうございます。早速、私も入会する事にしました！
 色々な形でエコ活動もできるんだなって思いました。日々の心がけて大事ですね。

どーも右衛門さんのファンが最近急増しています。

またのご投稿、小岩井クッキーと共に首を長くしてお待ちしております ♪♪編集室より

2. ボランティア活動を通じて

2.1 ～地域社会から環境保全事業へ～ 『前田の森 佐久』 間伐作業ボランティア

「MAEDA グリーンコミット」とは、植樹や森林整備などの環境保全事業に、寄付及びボランティア活動を行うことです。

『前田の森 佐久』は、「MAEDA グリーンコミット」の中の1つの活動で前田建設工業の関東支店が取り組んでいます。『前田の森 佐久』は、長野県主催の「森の里親事業」で前田建設工業がその主旨に共感し、主体となって行っています。この事業は、5年間に亘り森林を育てていくというもので、前田建設工業では、年2回程度のボランティア活動を通じて地元との交流を図っており、当社は、2012年も10月の間伐作業に参加しました。

2012年度活動内容：間伐



社内での取組み

□□ 従業員への取組み

「すべては人から」…個性を生かす人材を育成しています…

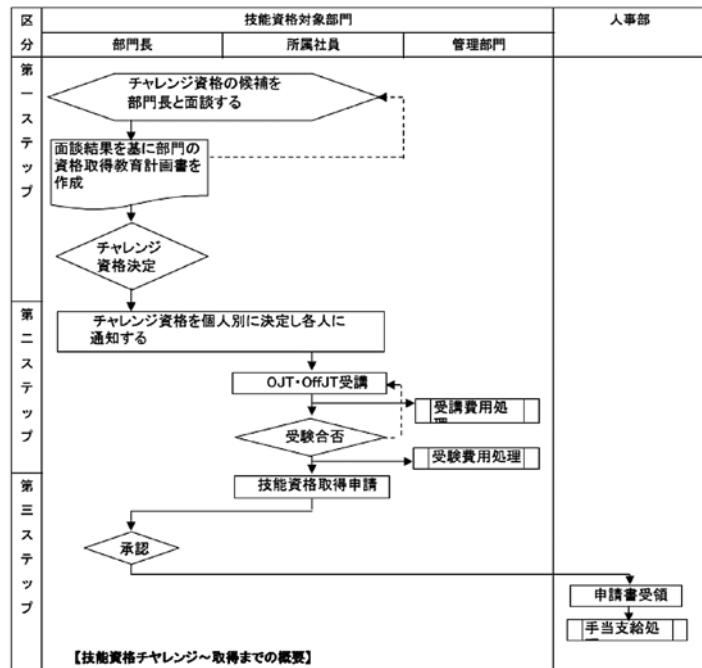
私たちは、仕事と家庭や地域生活の両立を実現できる、やりがいのある職場作りを目指しています。

1. 人材の育成

私たちはお客様のニーズにお応えするために、高い技術力の維持・発展と、技術者の能力向上を目的とした技能教育を実施しています。

2013年4月から、社員が技能資格取得に積極的にチャレンジできる仕組みを体系化しました。

このしくみの大きなポイントは、チャレンジ資格を会社の押し付けではなく社員との対話で決定することであり、更には、資格取得のためのOJT（社内教育・訓練）、OFF-JT（社会教育・訓練）と多岐に亘り選択が可能となっていることです。



2. 人権の尊重

私たちは、マエダ行動規範に示されている「安全は会社の良心である」という考え方に基づいて、役員・社員それぞれが持つ能力や多様性、個性を尊重し、職場で働くすべての者の安全や健康に配慮した快適な職場環境の確保に努めています。

「マエダ行動規範」(5-2)

- ・私たちは人を大切にし、人間尊重の精神に基づき、役員・社員個人の持つ多様な価値観、個性などを尊重し、人格を軽んずる行為はしません。
- ・私たちは、社会の一員として自らを磨き、良識のある個性的で活力あふれる集団を目指します。そして、当社は役員・社員に自らの成長を促す場を積極的に提供し、会社の発展と個人の成長のベクトルが一致する、働き甲斐のある職場を目指します。
- ・私たちは、企業活動にかかわるすべての働く者が、良好な労働条件のもと、健康で安心して働ける職場を作ります。
- ・私たちは、求人、雇用、研修、昇進等の取り扱いについて、人種、宗教、出身国、年齢、性別、障害などに基づく差別はしません。

(具体的には)

「改正高年齢者雇用安定法」(2013年4月施行)に基づき、定年退職後の雇用は希望者全員とし、段階的な厚生年金受給年齢の引き上げに対応しています。

3. ワーク・ライフ・バランス

仕事と家庭や地域生活において、人生の各段階に応じて多様な生き方を実現できる「ワーク・ライフ・バランス」の充実を図るための支援体制を整えています。

(育児・介護支援制度)

2010年6月より「育児休業制度」、「介護休業制度」を改定し、男性社員でも育児休業を取得しやすい環境整備に努めています。

[主な休業制度の利用状況]

2013年3月末現在

項目	男性	女性	合計
産前産後休暇取得者数	—	14名	14名
育児休業取得者数	2名	15名	17名
介護休業取得者数	1名	—	1名

(メンタルヘルスケア)

私たちは、「安全で快適な職場の創出」に基づき、従業員の身体の健康だけでなく、心の健康づくりを推進するため、2012年7月に「メンタルヘルスケア推進方針」、「心の健康づくり実施要領」を掲げ活気ある職場づくりに取り組んでいます。

【私たちの心の健康づくりの目標】

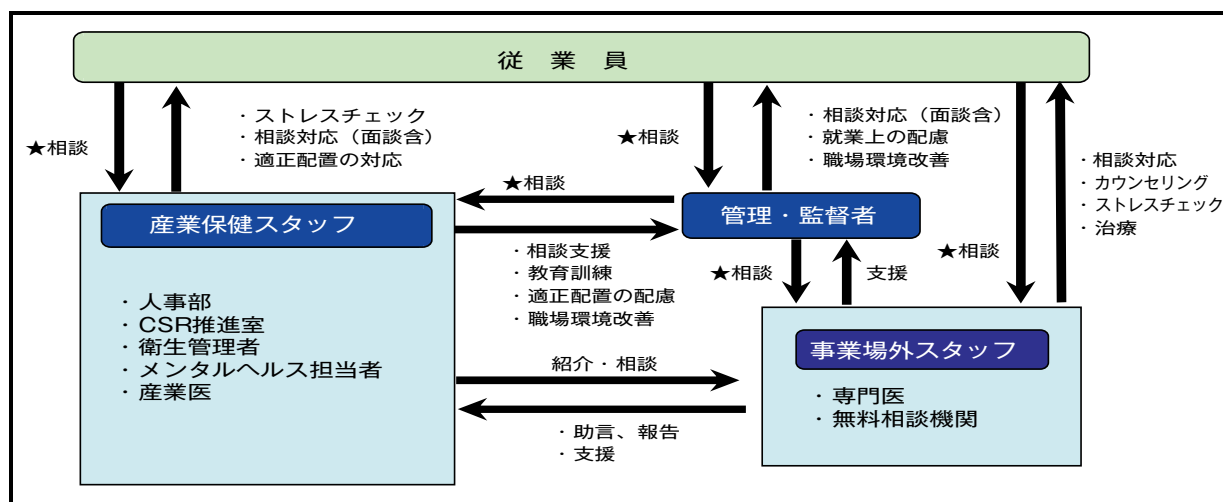
- 1 管理監督者を含む従業員全員が心の健康問題について理解し、心の健康づくりにおけるそれぞれの役割を果たすこと
- 2 円滑なコミュニケーションの推進により、活気ある職場づくりを行うこと
- 3 体系的な活動を推進し、職場環境による心の健康問題を発生させないこと

【活動推進体制】

下図の通り、関係部門・関連機関と連携を取り推進しています。

【職場復帰支援体制】

職場復帰支援プログラムを作成し、関係者と連携し、退職者の職場復帰を支援しています。



社内での取り組み

□□ 職場環境と安全衛生

1. 安全衛生上のお客様満足

当社では工場外で行う業務として水門等の公共工事、お客様の現場で行う建設機械等の整備・点検作業があります。これらの現場で災害を発生させるとお客様に大変なご迷惑と損害をお掛けすることになるため各種現場において無災害で納期通りに作業を終了させることがお客様の満足につながるものと考えます。もう一つのお客様は全従業員とその家族で、朝自宅の玄関を出た身体で業務を終了し、自宅の玄関に帰り着く。

これもお客様満足であると考えています。

2. 災害をおこさない環境づくり

当社では労働災害を発生させないために「6S活動」「危険予知活動」「安全パトロール」を実施しています。

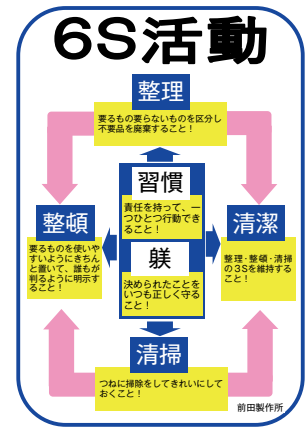
また交通事故防止のためには「運転記録証明書 (SD カード)」申請を役員及び全社員が実施し、そのデータを安全教育に反映させています。

2.1 6S活動

「整理・整頓・清掃・清潔・躰・習慣」を6S活動として展開し、全社員が参加して安全や品質向上はもとより、働きやすい職場環境を目指しています。

4S活動が一般的ではありますが、当社では「躰」は挨拶の徹底をはじめとする社会人としてのマナーを身につけることであり、「習慣」は整理からはじまる4Sを全社員が習慣化して身につけるという意味があります。

右図のポスターをすべての職場に掲示し啓蒙しています。



2.2 危険予知活動 (KYK)

お客様の現場での作業において事故を起こせばお客様に大変なご迷惑と損害をおかけすることになります。

そのような事態を予防するためにも KYK が大変重要であります。

当社では作業前に KY ボードに記入しながら実施する KYK は勿論のこと、作業ごとに実施する「作業前 KY」の定着も図っています。

作業前 KY シートは作業指示の明確化、作業工程や必要保護具等の明確化、そして危険要因の抽出等が記載できるようになっており、作業現場において迷わずに作業できる書式としています。

また、作業終了後には、ヒヤリやキガカリ等を記入し、類似のヒヤリやキガカリが発生しないように展開しています。

作業前 KY シート

作業日時: 年 月 日 時 分

作業場所: []

作業内容: []

危険要因の抽出: []

対策: []

確認事項: []

安全確認: 私は「 [] 」をする時に「 [] 」危険があることを確認します!



社内での取組み

2.3 安全パトロール

本社事業場では、安全衛生委員会時に産業医による職場巡視、各工場間の相互安全パトロールを実施し、不安全点はその場で指導・指示して改善をし、委員会にて結果を報告して改善・改良に努めています。

甲信支店及び名古屋支店管内のすべての営業所等においては、3ヶ月間記載できる安全パトロールチェック表に基づき相互安全パトロールを実施し、前月の指摘事項の改善状況や当月新たに発生した不安全事項を記録すると共に所長に報告し、改善・改良に努めています。



産業医による職場巡視

2.4 交通安全

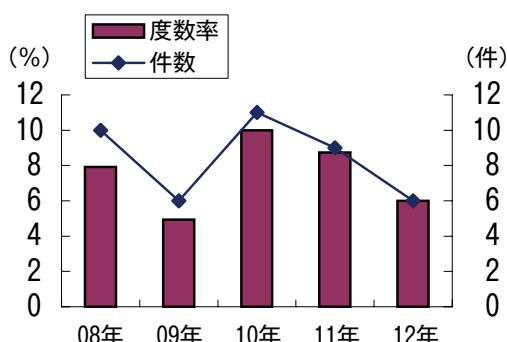
1989年より、関係会社を含め役員・全社員に「運転記録証明書（SDカード）」の申請を義務付けています。

そしてその結果を交通安全教育に反映させ、交通違反・交通事故防止に役立てています。

SDカード申請は一人の未申請者もなく全員が申請していますが、SDカード取得率は84%となっており、全国平均の87%よりも3%も低い数値となっています。

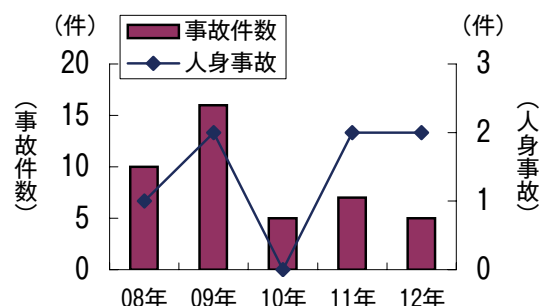
2.5 安全成績の推移

災害件数と度数率



労災：2010年以降は災害が減少傾向となつてはいますが未だゼロ災害への道のりは遠いものとなっています。（療養給付請求をしたものを災害件数としています）

総件数と人身事故件数



交通事故：2011年以降は事故件数自体は減少傾向であります、人身事故件数は減少しておらず更なる安全教育と啓蒙活動が必要となっています。

3. 健康で働ける職場づくり

健康診断

法で定められた健診項目は最低限の項目であり、人財としての社員を守れないという考えのもと、当社では関係会社を含め、30歳以上の社員を対象として腫瘍マーカー検査や眼底検査等のオプションも取り入れ、定期健診というよりも生活習慣病予防健診というにふさわしい健診としています。

また会社補助を支給し人間ドックも受診しやすい環境にしています。

昨年度は定期健康診断（人間ドック受診者含む）の受診率が100%となるなど、社員の健康に対する関心が高まっています。

特殊健診（じん肺・有機溶剤）の受診率は構内協力業者を含め100%です。

関係会社の取組み

□□ (株)ネオックス

新潟県と長野県の県境、豪雪と美味しいお米で有名な新潟県中魚沼郡津南町に事務所・工場があります。

(株)ネオックスの事業活動

事業内容は油圧シリンダーの設計・製造・販売です。
移動式クレーンや、高所作業車・油圧ショベルなどに使われています。



また、長尺物を主体としたメッキ電解槽を完備し事業展開をしております。

1. 当社のお客様

当社は各種機械の油圧シリンダーの製造を行い、納品先は親会社の前田製作所をはじめとした機械器具等の製造会社です。



2. お客様満足について

2.1 品質至上

「品質至上」を基本理念とした品質方針には「魅力ある製品づくりに徹してお客様の期待に応える満足を提供することを基本とする。」という方針が盛り込まれています。

これこそが当社がお客様にご提供できる最大の満足であると考えます。

2.2 満足度調査

当社では、半期ごとに製品納入させて頂いたお客様に対して、顧客満足調査票をご担当者へ送付し、お客様の生の声をお聞きして製品の改善・改良に取り組んでいます。

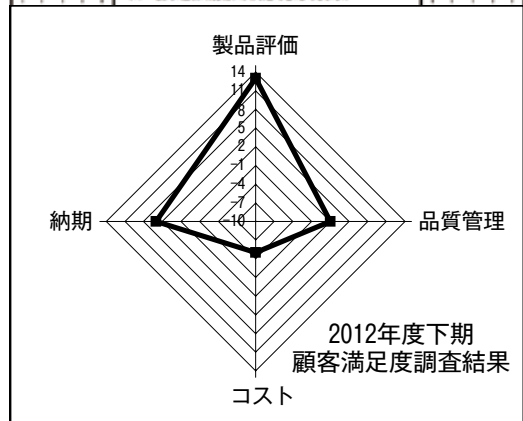
顧客満足調査票			
お客様名	ご担当者	方法	<input type="checkbox"/> 郵送
ご回答者	会社様名	方法	<input type="checkbox"/> 電話
重要度	ご質問	評価	
おやどらんとおん	お手数ですが以下の質問にお答えください	おやどらんとおん	おやどらんとおん
にき		き	き
重要でない		重要でない	重要でない
満足		満足	満足
1. 製品のできばえについてお伺いします			
(1) 要求仕様(規格)は満足できましたか			

2.3 満足度調査結果

製品は「満足」という評価を頂きました。

しかし、品質管理・納期についてはやや満足、コスト面ではやや不満という結果であり、お客様からの要望である合理化によるコストダウンには十分に答えられていません。

今後は、原価低減活動を踏まえ合理化を実施し、すべての面でお客様にご満足頂ける製品を目指していきます。



3. 地域との繋がり、社会貢献について

地域に根ざした会社であり続けるために、地域との結びつきを積極的に行い、各種団体等の会員として参加させて頂いています。



津南町内美化運動



津南ひまわり広場（駐車場整理員）

□□ (株)フォードマエダ

フォードマエダ（フォード西埼玉鶴ヶ島店）の事業活動

前田製作所の関係会社として1987年に埼玉県入間郡鶴ヶ島町（現：入間市）にフォード車の販売会社として設立し、フォード車・各種中古車の販売、車検及び点検整備、各種保険のお取り扱いをしています。

1. お客様の満足

当社では、「フォードオーナーになった時、あなたが手にするのはクルマだけではありません。」を合言葉に、フォード車のオーナーだけでなく、ご来店いただくすべてのお客様のカーライフニーズにお応えすることがお客様の満足であり、当社員の喜びであると考えています。

2. エコへのお手伝い

フォードが新たに開発した次世代の低燃費エンジン「エコブースト」は、単に速い馬であった自動車を速くて楽しいそして低燃費の自動車に変身させました。

今後はエコブース搭載車両の販売、確実に点検・整備した中古車の販売をとおしてエコのお手伝いをし、お客様から車検や点検・整備で入庫された車両も真心をこめて確実な作業をすることによりエコの推進を図っていきます。



エコブースト EG

□□ (株)サンネットワークマエダ

サンネットワークマエダの事業活動

前田製作所は経営戦略の一環として、2005年4月にサンネットワーク中部(株)と提携し、介護用品卸レンタル及び販売事業に参画してまいりました。

高齢化社会において長期的に成長が期待できる分野であり、社会的貢献ができる事業として、2008年9月に株式会社サンネットワークマエダを設立し、同年10月にサンネットワーク中部の事業エリアを譲受け、事業を開始致しました。

1. 会社理念

2000年4月より介護保険制度が施行され、その利用者は高齢化の進行と共に増加しております。

介護保険制度は、企業分野において従来の官から官民の協調による民間活力により、多様なニーズに応えるべく施行された制度であります。中でも在宅介護の充実が利用者ニーズであり、従来の物を所有する時代から機能を利用する時代に生まれた新しいサービスである、福祉用品レンタルの貢献が求められています。

福祉用品レンタルにおいては、迅速なデリバリー・清潔な商品の提供・福祉用具使用に対する各種補償制度の充実が重要であり、より顧客に密着したサービスを提供している福祉用具貸与事業者の後方支援が、利用者の視点に立った最適なサービスと考えています。

「福祉用具の貸与を通じて、お客様と共にご利用者様の自立を支援すること。」これが私達の目標です。

2. お客様とご利用者様

当社のお客様は福祉用具貸与事業者様となります。

そして当社は、お客様を通してご利用者様に福祉用具をご提供しています。

3. 品質

お客様・ご利用者様に安心、安全のサービスをご提供するため

- 1) レンタルから戻った商品は、オゾンガス消毒・微酸性電解水消毒・逆性石けん消毒等の消毒と清拭を行い、清潔な商品の提供により、取扱者・ご利用者様の安心に努めています。
- 2) 安心して使用していただくため、修理・調整を行い最終チェックに合格したものを提供しています。

4. お客様との繋がり

「福祉用具研修会」を開催し、お客様が最新の情報をご利用者様に提供できるようにしています。2012年度は3回開催しました。

・2012年6月

テーマ1 「シーティング技術の基本と自立」

テーマ2 「認知症の理解と暮らしやすい住環境を学ぶ」

・2012年9月

テーマ 「生活の中の車椅子」

・2013年2月

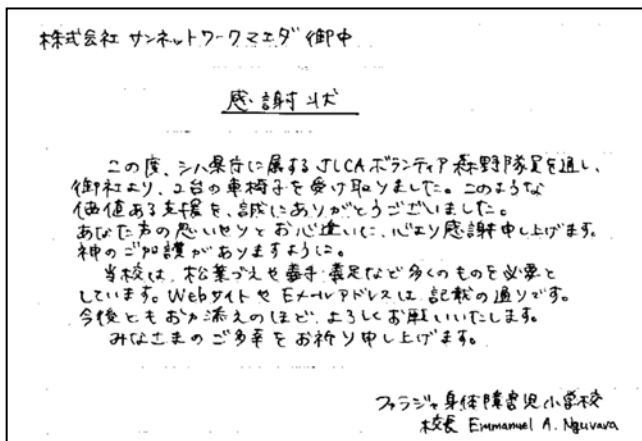
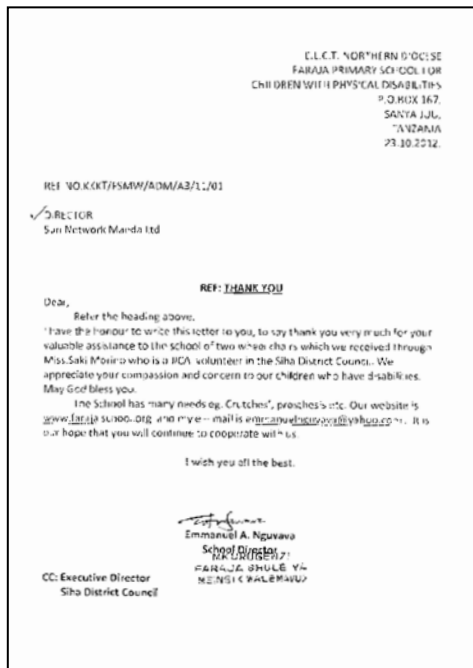
テーマ 「介護用具の見方、使い方」



5. 社会貢献活動

5.1 独立行政法人国際協力機構 (JICA)

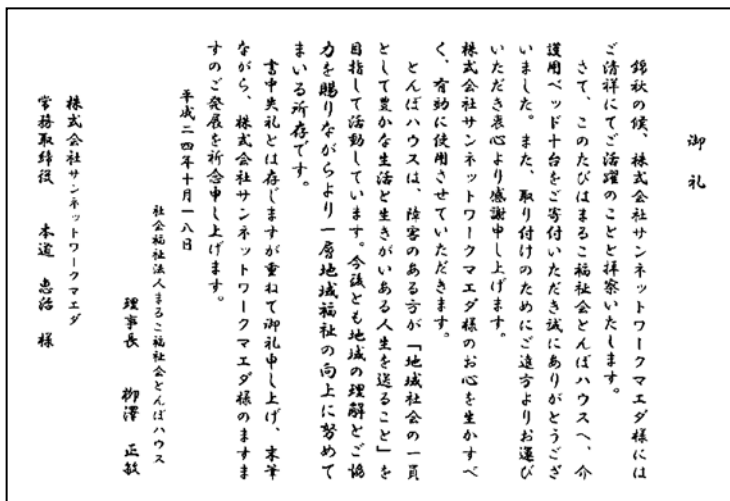
青年海外協力隊の「笑顔のために」プログラムに賛同し、車椅子を寄贈しました。(タンザニア連合共和国)



タンザニアより届いた感謝状と和訳文

5.2 社会福祉法人

福祉施設へ新規施設の開設に伴い、地域福祉の向上を願いベッドを寄贈しました。



地域・社会全般への取組み

1. 東日本大震災復興支援

日本中が様々な形で復興支援活動を行っていますが、当社は創立50周年記念事業の一つとして、日本赤十字社に対し震災復興支援の寄付をさせていただきました。こうしたわずかな支援が少しでも震災復興のお役に立てることを願ってやみません。

当社はこれからも、震災当時の思いを忘れず、直接、間接を問わず我々の持てる技術を結集し支援を継続して参ります。



(左：日本赤十字社 長野県支部 阿部守一支部長(知事)、右：(株)前田製作所 会長 土屋俊一)

2. 歩道橋ネーミングライツ・パートナー

当社では2006年より、近くの小学校の通学路で下校する児童を安全に誘導するため、「児童の下校見守り運動」を継続していますが、多くの小学生が利用しているのが当社前の横断歩道橋です。

2012年10月、長野県は県財源確保策の一環として、県道に架かる歩道橋の命名権を募集しました。県によると全国で歩道橋の命名権を導入しているのは大阪府、名古屋市などわずかとのことです。

この歩道橋は1967（昭和42）年に架けられ、以来46年間、当社社員の工場間の移動に、先に述べた近隣小学生の通学用にと、日々の生活の中でなくてはならない存在となっています。



児童の下校見守り活動



そんな当社にとって大変馴染み深い歩道橋に対し、「社会貢献活動の一環」として応募したところ、ネーミングライツ・パートナーとして採用されることとなりました。

この命名権は2013年4月から3年間有効で、2013年夏には塗装作業が行われ装いも新たになった歩道橋に「前田製作所前歩道橋」の文字が入ります。

愛称が入ることで、歩道橋共々当社も地域に愛される企業を目指します。

3. 太陽光発電

写真は当社工場屋根一面に並ぶ太陽光パネルです。パネル総数は944枚。1枚の大きさは1m×1.25mで、1枚あたり80V程度の電圧が出力します。

発電可能な最大電力は140kw。

晴天の昼頃に120kw程度となります。

ところで、140kwの電力とは？

40Aの契約世帯であれば約35世帯分に相当します。

発電状況は液晶モニターによってリアルタイムに把握することができます。

モニターを本社受付に配置することで、社員はもちろん来社するお客様にも当社の取組みをご覧いただいています。



4. 地域の一員として

お蔭様で、地域のマスコミから取材依頼をいただく機会も増えてきました。多くの皆さまに当社、また当社の取組みを知っていただく為にも、できる限り協力しています。

不慣れな取材、撮影にもプロの方々指導のもと社員一同奮闘しています。

そんな撮影のひとコマをご紹介します。



また、ものづくりに特化した長野県内の企業数十社と共に当社のものづくりも取り上げていただき、その内容が本になりました。

こうしたメディアを通したPRを継続的に実施することで、お客様、地域の皆さまにより近い存在であり続けたいと考えています。

※該当する項目に [○] をご記入ください。

Q1. この報告書について、どのようにお感じになりましたか？

○情報量

1. 大変充実している 2. 充実している 3. 普通 4. やや物足りない 5. 物足りない

○取組みの内容

1. 大変評価できる 2. 評価できる 3. 普通 4. あまり評価できない 5. 評価できない

Q2. この報告書の記載事項で、特に興味を持たれたのはどの記事ですか？

(いくつでも結構です)

1. お客様とともに (P 1)
2. トップメッセージ (P 4)
3. 新規開発商品の取組み (P 6)
4. コーポレートガバナンス/CSR・コンプライアンス/リスク管理 (P 8)
5. 自社製造・製品の取組み (P 10)
6. 販売・サービス商品の取組み (P 14)
7. 環境の取組み (P 18)
8. 社内での取組み (P 29)
9. 関係会社の取組み (P 33)
10. 地域・社会全般への取組み (P 37)

Q3. 当社の CSR や環境への取組み・方針について、ご理解いただけましたか？

1. 十分に理解し、期待している 2. 理解できた 3. 普通
4. あまり理解できない 5. 期待もせず、理解もできない

Q4. 今後の当社 CSR 活動へ期待すること、

ご意見・ご希望などがありましたらお聞かせください。



株式会社前田製作所

2013年8月

CSR 推進室

〒388-8522

長野県長野市篠ノ井御幣川1095

TEL 026-292-2229

HP <http://www.maesei.co.jp>